特許
取得済み

F★★★★
ホルムアルデヒド放散等級

アレス ムシヨケクリーン®

室内のビニールクロス壁面や
塗装壁面に塗装するだけで

虫除け効果を発揮

KANSAI PAINT

室内のビニールクロス壁面や塗装壁面に塗装できる虫除け塗料

アレスムシヨケクリーン®

健康・安全・快適な生活空間の実現に向けて

不快な害虫をよせつけない「アレスムシヨケクリーン®」

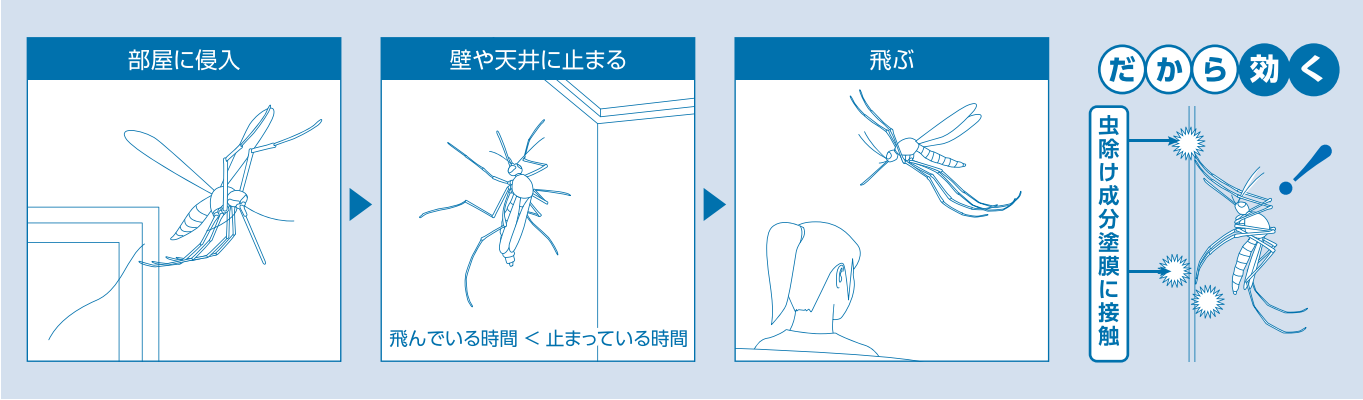
感染症予防が社会の課題

クモや羽アリ、蛾などが部屋の壁にとまっていると不快に感じるものです。関西ペイントは、部屋の壁に塗装するだけで不快な害虫が寄りつきにくくなる塗料「アレスムシヨケクリーン®」を開発いたしました。感染症の防止に対してもその効果が期待できます。

どんな効果があるの?

1 止まったところで効果を発揮

虫除け成分（ピレスロイド系薬剤）配合により、塗装面に虫が止まることで（接触することで）、神経系に影響を与え（不快に感じて）、虫が寄りつきにくくなります。



2 人や動物に安全

成分は人や動物に対して毒性が低く、空気中にも漂わないので安全です。

3 無色透明のつやけしタイプ

無色透明のつやけしタイプなので、現在の壁紙の上に直接塗れお部屋の色に影響しません。

4 塗装が簡単

刷毛やローラーで簡単に塗れます。水性塗料のため塗装の際の臭いも気になりません。

5 壁面の汚れ付着防止効果

壁面の汚れの付着防止と、汚れの除去が簡単になる機能もあります。

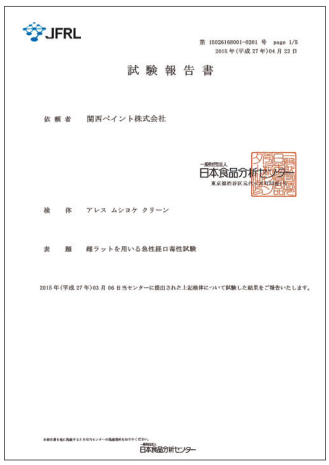
アレスムシヨケクリーン®の安全性

塗膜の第3者機関検証データ

〈 日本食品分析センターでの試験結果 〉

試験1 雌ラットを用いる急性経口毒性試験

毒性の一番低い分類区分5に該当


JFRL

第 15026168001-0201 号 page 1/5
2015年(平成27年)04月22日

試験報告書

依頼者　関西ペイント株式会社

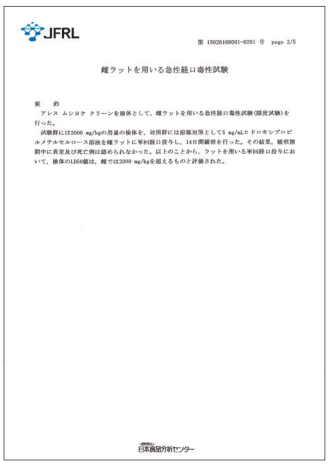
一般財団法人 日本食品分析センター

検体　アレス ムシヨケ クリーン

表題　雌ラットを用いる急性経口毒性試験

2015年(平成27年)03月06日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

日本食品分析センター


JFRL

第 15026168001-0201 号 page 2/5

雌ラットを用いる急性経口毒性試験

要　約

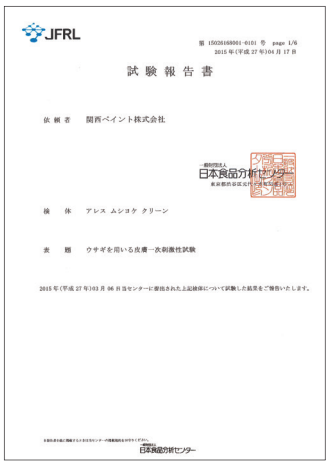
アレス ムシヨケ クリーンを検体として、雌ラットを用いる急性経口毒性試験(限度試験)を行った。

試験群には2000 mg/kgの用量の検体を、対照群には溶媒対照として5 mg/mLヒドロキシプロピルメチルセルロース溶液を雌ラットに単回経口投与し、14日間観察を行った。その結果、毒性徴候や死亡例は認められなかった。以上のことから、ラットを用いる単回経口投与において、検体のLD50値は、雌で比2000 mg/kgを超えるものと評価された。

日本食品分析センター

試験2 ウサギを用いる皮膚一次刺激性試験

「無刺激性」の範疇に入ると評価


JFRL

第 15026168001-0101 号 page 1/6
2015年(平成27年)04月17日

試験報告書

依頼者　関西ペイント株式会社

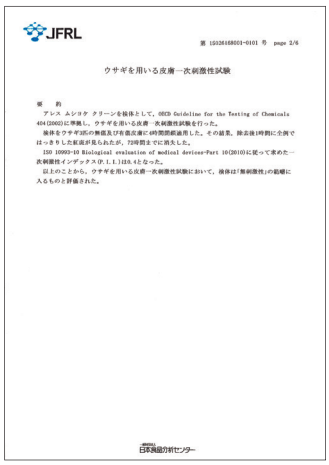
一般財団法人 日本食品分析センター

検体　アレス ムシヨケ クリーン

表題　ウサギを用いる皮膚一次刺激性試験

2015年(平成27年)03月06日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

日本食品分析センター


JFRL

第 15026168001-0101 号 page 2/6

ウサギを用いる皮膚一次刺激性試験

要　約

アレス ムシヨケ クリーンを検体として、OECD Guideline for the Testing of Chemicals 404(2002)に準拠し、ウサギを用いる皮膚一次刺激性試験を行った。

検体をウサギ3匹の無傷及びひ傷皮膚に4時間閉塞適用した。その結果、除去後1時間に全例ではっきりと紅斑が見られたが、72時間までに消失した。

ISO 10993-10 Biological evaluation of medical devices-Part 10(2010)に従って求めた一次刺激性インデックス(P. I. I.)は0.4となった。

以上のことから、ウサギを用いる皮膚一次刺激性試験において、検体は「無刺激性」の範疇に入るものと評価された。

日本食品分析センター

2015年 日経優秀製品・サービス賞 最優秀賞 日経産業新聞賞

「アレスムシヨケクリーン®」
2015年日経優秀製品・サービス賞 最優秀賞 日経産業新聞賞を受賞

日経優秀製品・サービス賞とは…

毎年1回特に優れた新製品・新サービスを表彰するもので、今年は約2万点の中から日本経済新聞社が独自に候補となる製品・サービスを選定。その後、識者による審査委員会で受賞製品・サービスが選出される。

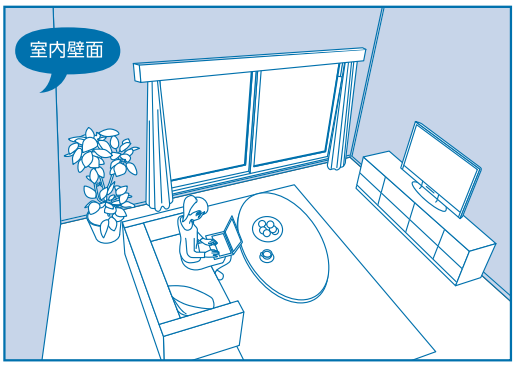
国内外での拡販に期待!

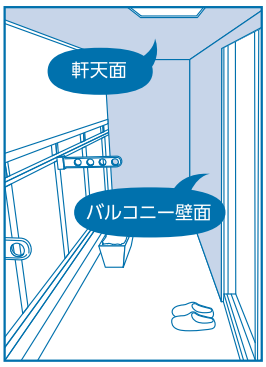
「アレスムシヨケクリーン®」は、塗装することにより、日常生活の中で、自然に効果を発揮する、まさに快適生活提案塗料です。日本の内装市場は塗料よりも壁紙が一般的ですが、「アレスムシヨケクリーン®」を通して、内装の塗装をもっと身近に感じていただければと思います。またIPPF(国際家計画連盟)を通じて、虫よけ塗料を海外医療施設に紹介することを開始しました。それにより今まで関西ペイントが進出していない地域でも販売しようとしており、今後の拡がりを期待しています。

大家正裕
建築製品技術部 部長

主な適応部位

室内壁（各種塗装・ビニールクロス面）、集合住宅・戸建住宅のバルコニー壁面、軒天面、玄関廻りの壁面など





本品は、虫が本品塗装面へ止まることにより効果を発現します。

※不快な虫の寄りや侵入を全て防げるものではありません。

※使用環境により効果持続性が異なります。

標準塗装仕様

室内壁（各種塗装面・ビニールクロス面）、軒天面など
容量：1L

工　程		塗料・処置	塗装回数	標準塗付量（kg/㎡/回）	塗装方法	希釈率（%）
1	素地調整	汚れ・付着物を除去し、被塗物を清浄な面とする。				
2	上塗り	アレスムシヨケクリーン®	1 ※	0.07	ローラー、ハケ	無希釈

※ビニールクロスは、吸い込みが少ない素材ですので、追っかけ塗装（乾燥前の塗装濡れ色中）で塗り重ね、標準塗付量を確保してください。

施工上の注意事項

●本品は屋内及び準屋外用途です。直射日光があたる箇所への塗装はさけてください。日光の下では虫除け成分が分解され、効果持続性が劣ります。
●塗装後、乾燥不十分な状態で降雨・結露などで負荷が掛かった場合や、低温、高湿度、通風のない環境では、ふくれ、はく離、割れ、白化、シミなどが発生するおそれがありますので、塗装をさけてください。
●絶えず結露が発生するような用途、場所での使用はさけてください。
●塩ビクロス面への塗装はできますが、汚染防止加工クロス（シリコン加工）、紙クロス、布クロスには塗装できません。
●気温5℃以下（低温）、湿度85%以上（高湿）での施工はさけてください。
●屋外において降雨、降雪、強風のおそれがある場合は塗装をさけてください。
●塗装間隔は環境（温度、湿度、換気回数など）や膜厚によって変わります。
●所要量は、被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などにより増減することがあります。
●結露が発生する場所では、塗料中の微量の水溶性分が表面に溶出し粘着物となって析出することがあります。粘着物は水拭きや水洗で除去してください。
●冬期の室内施工の場合は、採暖養生などにより雰囲気温度、被塗面温度を5℃以上にしてください。
●屋内塗装中および塗装後に部屋が密閉されていると、乾燥不良や色相やつやの変化を生じることがありますので十分に換気してください。
●塗装仕様書に記載の数値は標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件により多少の幅が生じることがあります。
●塗膜性能を十分に発揮させるために、所定の塗り回数と塗付量確保による施工を行ってください。
●被塗物の形状、膜厚や色目、塗回数、希釈率の差などにより、実際のつやと若干異なって見える場合があります。また塗り継ぎ箇所でつやむらが生じやすい傾向があります。試し塗りの上、本施工に入ってください。
●本品は殺虫剤とは異なりますので、不快な虫の発生頻度により、十分な効果が得られない場合があります。
●本品を塗装するとつやが消え、塗装前の仕上がり感と変わる場合があります。
●光沢のある面への塗装は可能ですが、つやむらが生じる場合があります。また、塗装面を擦ると塗膜が減耗し、つやむらが生じることがあります。
●本品はわずかに白色濁りのあるクリヤーのため、濃彩色の下地上では仕上がりむらが生じることがあります。
●モルタル、コンクリートなど、アルカリ素材への直接塗装はさけてください。アルカリ成分により、効果が失われます。アレスシックイ施工面への塗装はできません。
●シーリング面は、塗膜が汚染・はく離・収縮割れを起こすことがあるため、マスキングテープなどで養生を行い、塗装をさけてください。シーリング材を打ち替える場合は、後打ちとし、可塑剤（油分）を含まないノンブリードシーリング材をご使用ください。
●仕上げる際は、塗り継ぎ部をつくらないよう注意し、面を切って、通し塗りを行ってください。
●膜厚、温度、塗色、塗回数、塗装方法、希釈率などによりつやの発現性が変化します。特にはけローラー塗装時の塗り継ぎ部では厚膜となり、その部位のつやが高くなり、つやむらが生じやすい傾向があります。試験施工で仕上がりを確認の上、本施工を行ってください。
●使用中において塗料に含まれるつや消し剤が沈降しやすい場合がありますので、適宜かくはんしながらご使用ください。
●補修塗り用として使用塗料の控えを必ずとっておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
●補修塗装などで塗り重ねの必要がある場合には、必ず被塗面をサンドペーパーで研磨してください。
●ローラー塗装では同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。
●水性塗料を塗装する場合はナイロンはけを使用してください。獣毛はけは固まったりだまになりやすいので使用しないでください。
●被塗物にカビや藻が繁殖している場合は、下地処理としてカビ・藻の除去および殺菌処理後、十分水洗し、乾燥してから塗装してください。
●塗装前の部位にワックスやクリーナーなどが残存している場合には、はじきや付着不良の原因となりますので、十分に除去してから塗装してください。
●ヤニやあくが著しい場合、塗膜からヤニやあくがにじみ出る現象（ブリード）の発生があります。ウエスなどで水拭きで付着物質を除去後、十分に乾燥させてから塗装してください。
●はけやローラーを共用で使用するとはじきなどが発生する場合がありますので、製品ごとに専用とするか、十分に洗浄後よく乾燥させた上でご使用ください。
●塗装用具などは、塗料が乾燥しないで固まらないうちに洗浄してください。水で落ちにくい場合は、水性アジャストやラッカーシンナーを用いて洗浄してください。
●材料は使用前に内容物が均一になるように十分にかくはんし、開栓後は速やかに一度に使い切り、使用した塗料を元の塗料容器に戻さないでください。
●本品は防除用医薬部外品ではありません。
●カブト虫・クワガタ虫などのペット虫や両生類・爬虫類・魚類などにも影響があります。なお、塗膜に接触しなければ支障はありません。
●金魚鉢や池などに本品を混入しないでください。
●本品並びに本品が含まれる洗い水などは下水に流すことはできません。使い終えたはけや用具、布（ウエス）は使い切りとし、水洗いせず、廃棄してください。廃棄の際は、各自治体の指導に従ってください。

ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート（SDS）をご参照ください。

予防策　取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具（帽子・保護めがね・マスク・手袋等）を着用し、身体に付着しないようにすること。　吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。　皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛を着用すること。　火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。　火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気機器等を使用すること。　裸火又は高温の発熱体に噴霧しないこと。　本来の目的以外に使用しないこと。　当社指定以外の材料を混合しないこと。仕上り性、付着性、耐久性など性能に支障をきたすおそれがあります。　缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。　使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。　塗料が付着した布ウエス、紙、ローラーは引火、発火を防止するため水に浸漬するなどして安全対策を行うこと。

対応　目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。　皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落し、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。　吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。　飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。　漏出時や飛散した場合は、砂、布類（ウエス）等で吸い取り、拭き取ること。　火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

保管　指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。　直射日光、雨ざらし、凍結を避け、貯蔵条件に基づき保管すること。　子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

廃棄　本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。（排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと）

施工後の安全　本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。　例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

お近くの営業所はこちらから！

各種カタログご覧になれます。

※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご諒承ください。

（25年07月09刷PFW）カタログNo.791